

特色ある学校づくり ～ 各校の取り組み 小学校 ～

 <p>伊那小学校 所在地 伊那市山寺3221番地 ☎番号 0265-72-5205 https://www.ina-ngn.ed.jp/~inasho/ 児童生徒数名 611名 (R7.5.1現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ</p> <p>内から育つ</p> <p>対象とかかわり続けながら、自らをゆたかにしていく子ども</p>
<p>◆学校教育目標 (児童の目標)</p> <p>こつこつ勉強する 友がきをつくる とことんやり抜く</p>	<p>◆特色ある活動</p> <p>○学級独自の活動の充実 (総合活動・総合活動)</p> <p>各学級では、動物の飼育や植物の栽培、遊び、日々の暮らし、季節の行事などをテーマに、子どもたちが中心となって取り組む活動をつくっています。</p>
<p>◆学校経営の重点</p> <p>□ 教育理念 学校は子どもたちにとってこくよく生活の場、詩境でなければならない</p> <p>□ 教育目標 眞事 眞言 誠 (まこと まこと まこと)</p> <p>□ 子ども観 子どもは自ら求め、自ら決め出し、自ら動き出す力をもっている存在である</p>	<p>こうした活動は、子どもたちの「やってみたい」「知りたい」といった気持ちをもとに始まり、そこから広がっていくさまざまなできごとを、学びの時間として大切にしています。</p> <p>教科の学習内容ともつながるようなことがあれば、子どもたちにとって「なるほど、今知りたいことだ」と感じられるような形で取り入れるようにしています。</p> <p>そのために、各学級の担任が年間を通した学びの計画を立て、子どもたちの活動や教科学習とのつながりを考えながら、職員みんなで話し合い、必要に応じて見直ししながら進めています。</p>
<p>◆教職員研修の重点</p> <p>本校では、子どもたち一人ひとりの姿や思いを大切にしています。職員は、子どもたちの日々のつぶやきや行動、ふとした表情から、その子の「今」に寄り添いながら、学びを広げていくことを心がけています。</p> <p>職員同士も日々の会話やふり返りを通して、お互いの思いや考えを伝え合い、学び合う関係を大切にしています。</p>	<p>○主な行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・音楽会 ・学習発表会 ・修学旅行 (6年) ・臨海学習 (5年) ・長野社会見学 (4年) ・スキー教室 (3～6年) ・スケート教室 (2年) <p>○課外クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱団 ・陸上クラブ ・相撲部
 <p>伊那東小学校 所在地 伊那市境1248番地1 ☎番号 0265-72-2007 https://www.ina-ngn.ed.jp/~mutubiai/ 児童生徒数 599名 (R7.5.1現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ</p> <p>「学ぶことを楽しみ、自ら考えを深め表現しようとする子どもの育成」</p>
<p>◆学校教育目標</p> <p>かしこく やさしく たくましく ～互いのよさを認め、切磋琢磨しあいながら共に生きる道を切り拓いていく東小の子～</p>	<p>◆特色ある活動</p> <p>○開校展 (11月23日) 令和7年度127回目</p> <p>地域の方々やPTA、同窓会の皆様とともに開校を祝う、本校の一大行事。今年度は、「未来へ つながる伝統 広がる笑顔」をテーマに、「子どもたちをど真ん中にすえた」内容を様々に計画。記念式典やハーモニーコンサート、販売活動などを実施。</p>
<p>◆学校経営の重点</p> <p>学び合い、支え合う学校</p> <p>～学びを深め 支え合って学ぶ</p> <p>読書にひたる あいさつを交わす</p> <p>清掃に真剣に取り組む 健康な心身～</p>	 
<p>◆教職員研修の重点</p> <p>【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら学ぶ子ども ○思いやりのある子ども ○健やかな体の子ども <ol style="list-style-type: none"> 1. 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 2. 多様性を包み込む学びの環境 3. 生涯にわたり、誰もが学び合える地域の拠点 4. 文化芸術・スポーツの身近な環境 	<ul style="list-style-type: none"> ○そり・スケート・スキー (1・2月) ○お弁当の日 (10月・12月) ○地域の方々の応援・保護者との連携 (信州型 CS) 「読み聞かせ」「学習支援」「農業支援」「食育支援」等、ボランティアによる活動 (通年) ○合唱団・陸上クラブの活動



伊那北小学校

所在地 伊那市野底8380-3
TEL番号 0265-72-2264
<https://www.ina-ngn.ed.jp/~inakita/>
児童生徒数 270名 (R7.5.1 現在)

◆**学校教育目標** かしこく なかよく たくましく
子どもたちの未来のための学びがある学校づくり

◆学校経営の重点

<めざす学校像>

- ・すべての子に学びの場がある学校 (内)
- ・伊那北の自然・地域と共にある学校 (外)
(内にも外にも開かれた学校)

<めざす子ども像>

- ・「わたしっていいな」自己肯定感をもてる児童
- ・「わたしはこう思う」自分の思いを自分の言葉で語る児童
- ・「〇〇さんだいじょうぶ」思いやることのできる児童

<めざす教師像>

- ・児童の声に耳を傾ける教師 (指導よりまずは理解)
- ・児童の活動をファシリテートする教師

◆教職員研修の重点

- 【凡事徹底】
「気づく心」の育成と一歩踏み込んで「人を喜ばせる心」の育成
- 【率先垂範】
児童は学校において、教師の後ろ姿を見つめている
- 【和顔愛語】
愛語よく廻天の力あることを学すべきなり

◆学校研究テーマ

「ふりかえりを通して学びを深め、成長する子どもたち」
～子どもの「分かった」「できた」につながるふりかえりの在り方～

◆特色ある活動

「伊那北の自然・地域と共にある学校」
上牧里山づくりの皆様にご協力いただきながら、里山に関わる自然体験学習をしています。

- 低学年「森を楽しむ」
四季を通じた里山での遊びなど
- 中学年「森を活かす」
シイタケのコマ打ち、炭焼き体験など
- 高学年「森を創る」
お米作り 里山整備作業など

子どもたちが多様な他者と交流したり、多様な他者に向けて発信したりする「継続的な体験活動」に力を入れています。



伊那西小学校

所在地 伊那市ますみヶ丘 6949-2
TEL番号 0265-72-2632
<http://www.ina-ngn.ed.jp/~nanishi/>
児童生徒数 76名 (R7.5.1 現在)

◆**学校教育目標** 「かしこさ」「やさしさ」「たくましさ」
～知・徳・体の調和のとれた人間形成～

◆学校経営の重点

「いのちにふれて根っこを肥やすふるさと教育の創造」
伊那西の豊かな自然と文化、人材を最大限に活用した『ふるさと教育』を柱にして、「豊かな知性と確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心と体」のバランスのよい子どもを育てる。
子どもが安心して喜んで学校に来られる最大の教育環境をつくる。
「林間はみんなの教室だ」～体験を通して本物から学ぶ～
伊那市小規模特認校として、林間 (学校林) に親しみ、主体的・探究的に学ぶ子の育成をめざす。

◆教職員研修の重点

- ◎職員研修の日常化<互いに磨き合い、高め合う向学の気風>
- ①子ども・地域から学ぶ
 - ・学級経営案の見直しと改善策の話し合い・特別支援教育研修
 - ・豊かな自然と文化を材にして、子どもの思いにそった「太陽の時間」(生活科・総合的な学習の時間)の取組のあり方の検討、情報交換、見返し、子どもの成長の見取り・地域巡検
- ②外部講師を活用して学ぶ
 - ・人権教育研修・ICT活用力向上研修・森づくり研修
- ③基礎学力の定着と向上への取組
 - ・授業公開、授業研修・MIMを活用したつまずきへの支援




◆学校研究テーマ

自分の思いや願いをもち、自ら取り組む子ども

◆特色ある活動

- 恵まれた自然環境を活用した学年ごと特色ある「太陽の時間」や教科学習の展開
- ・学校林を活用した自然観察や学年研究 (森の体験活動を通して)
- ・私たちの林間づくり (林間整備・皆伐に関わる学び)
- ・林間マラソン (朝学校林内のコースを走るマラソン)
- ・林間と親しむ日 (林間で全校飯盒炊さん、林間を生かした活動)
- ・林間ものつくり教室 (学校林において)
- ・バタフライガーデン (理科学習の発展として蝶の飼育・観察)
- 縦割り班活動 (集会活動・清掃・集団登下校)
- 地域につながり、地域と連携した学び
 - ・食農体験学習 1・2年:酪農家との交流、3・4年:りんご栽培農家との交流
 - ・地域 (公民館) と一緒に行う運動会や総合展
 - ・月1回の読み聞かせ (ボランティア「どんぐり」)
- 「熊の学習」を通して熊の生態理解と命を守る取組 (信州大学と連携)
- 少人数のよさを生かした教育



 <p>富 県 小 学 校 所在地 伊那市富県7312番地 Tel番号 0265-72-3094 http://www.ina-ngn.ed.jp/~tomigata/ 児童生徒数 125名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆ 学校研究テーマ</p> <p>「子どもたちが 自分の思いや考えを伝え合いながら お互いに学び合う姿をめざして」</p>
<p>◆ 学校教育目標</p> <p>自立共同の力を高める子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく考え、やりぬく子ども ・仲良くみんなと支え合う子ども ・いつも明るくしょうぶな子ども 	<p>◆ 特色ある活動</p> <p>○異学年での活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スマイルタイム（縦割り班でのレクレーション） ②なかよし学級での交流（レクレーション・やきいも） ③児童会イベントデー（6年生が中心となり企画運営） ④掃除での交流（縦割り清掃等） <p>○地域との交流学習</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ふるさと学習 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との栽培活動（麦・スイートコーン） ・地域の方とのしめ縄づくり ②保育園・高校との交流 ③「富小タイム」ボランティアの方による学習支援 ④PTA 主催「キャリア学習会」 ⑤ボランティアの方による読み聞かせ「おはなしたまてばこ」 <p>○食育の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ①栽培活動・調理活動 ②「あなたの命を私の命にいただきます」 ③お弁当の日（年1回）
<p>◆ 学校経営の重点</p> <p>○伝え合い・・・心を寄せて聞いたり話したりできる 考えを聞き、自分の考えを見返し、考えの再構築・表現力育成</p> <p>○認め合い・・・個性尊重・寛容の心を育てる 人権教育の充実 とともに活動し学ぶ楽しさ</p> <p>○心・体づくり・・・意欲をもち継続できる 体力の向上、強い意志 仲間意識の高まり 健康に関わる意識</p>	
<p>◆ 教職員研修の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①模擬授業研修→授業公開→日々の授業の資質向上のサイクル ②人権教育を中心とする学級経営 ③校内研修の工夫・充実、校外研修への積極的参加 	
 <p>新 山 小 学 校 所在地 伊那市富県535-2 Tel番号 0265-72-2884 http://www.ina-ngn.ed.jp/~newyama/ 児童生徒数 40名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆ 学校研究テーマ</p> <p>「人との関わりを広げたり深めたりする力を 育む指導・支援のあり方」</p>
<p>◆ 学校教育目標</p> <p>たくましく 心豊かな 新山っ子</p>	<p>◆ 特色ある活動</p> <p>学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数を生かした一人ひとりがわかる授業と個別指導 ・新山川の探検・ハッチョウトンゴ観察会・筍狩り・キノコ狩りなどの地域の自然に親しむ体験活動 ・野菜や古代米（白毛餅米）作りの活動、蚕の飼育、納豆作りなど地域の特色を生かした活動（新山っ子タイム） <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班による児童会活動、毎日の縦割り班清掃活動 ・富県小学校、手良小学校との学校間交流 ・カレーパーティー・焼き芋キックベース大会、畑での野菜栽培などの新山保育園との異年齢交流 <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に支えられて行うことができる様々な行事 竹の子採り、きのこ狩り・三界山登山で地域の方を講師に招き、新山の良さを感じる行事 ・地域の方とつくりあげる新山大運動会、新山フェスティバル ・全戸PTA、同窓会などの協力支援体制 ・CSの皆さんによる学期末の草取り、草刈りや、窓ふき作業 ・同窓会の皆さんによる敷地内樹木の剪定作業、郷土館の清掃 <p>～筍採り～</p> 
<p>◆ 学校経営の重点</p> <p>考えよう ①自ら考え、計画し、実践する力の育成 ②自分の考えを伝え合い、広げ深め合う学習活動の重視 ③粘り強く最後までやり抜く力の育成 ④自戒自律の心と「思いやり」の心の育成</p> <p>やってみよう ①思考力・判断力・表現力の育成 ②体験を通した学び ③暮らしの中の食 ④交流や集団行動において進んで活動 ⑤ICT機器の積極的な活用</p> <p>つながろう ①心を届ける挨拶、返事、歌声の奨励 ②伝え合うことによるつながり ③支え合える仲間関係の育成 ④新山の良さ、自分たちの学びの発信</p>	
<p>◆ 教職員研修の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①児童が人との関わりを広げたり深めたりする授業づくりのために、一人一台端末をどう活用すればよいか ②諸先輩や地域の方と関わることで、地域を知り、教師である前に人としてのあり様を考え、教師としての自己を問い続ける ③非違行為を防止するための読み合わせやグループ協議 	



美 簞 小 学 校

所在地伊那市美簞5350-1
TEL番号 0265-72-2588
<http://www.ina-ngn.ed.jp/~misuzu/>
児童生徒数 290名 (R7.5.1現在)

◆学校研究テーマ

『自分の考えを持ち、表現する子どもの育成』

◆学校教育目標 「本気・根気・和気・元気」

令和7年度重点目標 自ら考え、うごく子ども
感じ 「おもしろそうをやってみよう！」
考え 「自分で考え、求めよう」
行動する 「自分からあいさつしよう」

◆特色ある活動

- 金管バンド活動
- 地域の願いや伝統を受け継ぎ、高学年を中心に取り組む桜並木活動
- 地域ボランティアによる読み聞かせ活動
- 美簞小学校資料館の活用 (資料館運営委員会)
※開校記念日の資料館展示物を使用した体験活動
(地域の歴史や食や農がともにあった時代を実体験)
- 開校記念日記念式典 (毎年実施)
- 市社会福祉協議会と連携した地域交流
※昨年度、折り紙教室を開催。
- 全校縦割班 (なかよしグループ) 活動
なかよし集会 児童会祭り 資料館かるた遊び
- みどりの少年団活動
(学校林作業 椎茸の菌打ち ツリーハウスの製作)
- 財産区の方々による森林教室
- 地域講師によるグラブ活動 (お茶 生け花 ビーズ 地域探検)

◆学校経営の重点

- 1 授業の充実
課題解決型の授業づくりの工夫・ICTの有効活用の工夫情報共有による教師の学び合い
- 2 温かな児童理解と支援
特別支援教育の充実・チーム支援、情報共有、いこいや外部との連携・校内支援会議の積み上げ
- 3 生活科・総合的な活動の充実
体験的な活動の継続・「好き」「楽しい」「なぜ」の追求・地域を知り、地域に学ぶ・自己有用感、自己肯定感の向上
- 4 家庭・地域との連携・協働
特色ある活動の継続・信州型コミュニティスクールの推進・保護者、各種団体、委員会との連携



◆教職員研修の重点 子どもと「並び見」・共感的伴走者

- (1)校内研修の工夫・充実と、各種研修・研究会への積極的参加
- (2)個人の授業づくりの課題にチームで取り組む研究
- (3)一人一公開授業によるわかる授業の具現、授業力の向上
- (4)子どもの学びにくさをサポートするための支援体制づくり
- (5)自身の人権感覚を見返し、人権感覚を磨く研修の実施

◆学校研究テーマ

自分も主役、あなたも主役になる学習
～ 思考と協働～

手 良 小 学 校



所在地 伊那市手良野口222
TEL番号 0265-72-2756
<http://www.ina-ngn.ed.jp/~terasyo/>
児童生徒数 71名 (R7.5.1現在)

◆学校教育目標

校訓「思いやり」
やさしい子【情操】 かしい子【創造】
やりぬく子【意志】 元気な子【活力】

◆特色ある活動

- 縦割り班 (仙丈班) の活動…縦割り清掃、なかよし給食、運動会縦割り班種目、手良の自然に親しむ日 (地域探索)、児童会まつり、朝の活動等
- 地域のみなさんの支援による伝統的な活動…トランペット鼓隊、和太鼓体験
- 地域をフィールドとした学習や交流…農業体験、歴史学習、地域行事 (手良の秋まつり等)への参加、手良保育園との交流、他校との交流
- 地域ボランティアのみなさんによる学習・安全支援…授業中の学習支援、クラブ講師、農業体験活動の支援、郷土館の運営並びに歴史学習支援、読み聞かせの会、子どもの安全見守り隊

◆学校経営の重点

- (1)みんなと学ぶ…少人数を生かした個別最適な学び、協働的な学びの充実。新しい時代に必要となる資質・能力を育てる。
- (2)みんなが笑顔…自分と他者を大切に、自己有用感を高め、互いを認め合える人間関係づくりを進める。
- (3)みんなと一緒…ふるさと「手良」への愛着をもち、自分も手良の一員である自覚と地域の方に支えられている意識を高める。






新山小との交流 4年生




トンカチ教室


◆教職員研修の重点

- 手良地区の歴史・文化・自然等を学ぶ地域研修。
- 学級づくりや個別支援等を学ぶQ-U研修。
- 学力向上と授業改善を図る各種調査の分析。
- 互いの授業を見合い、授業改善を図る授業づくり研修。
- 自身の人権感覚を磨き、児童理解を深める人権同和教育研修。

 <p>東春近小学校 所在地 長野県伊那市東春近 2312 ☎番号 0265-72-3223 http://www.ina-ngn.ed.jp/~e-haru/ 児童生徒数 270名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ</p> <p>個別最適・協働的な学びの一体化 ～子どもも教師も主体的に～</p> <p>先生たちの「やってみよう」というモチベーションをベースとした研究</p>
<p>◆学校教育目標</p> <p style="text-align: center;">思いやり</p> <p>・相手意識の醸成 ・集団信頼感向上</p>	<p>◆特色ある活動</p> <p>○ 地域との連携（ふるさと学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や季節を感じる活動（自然観察・畑） ・東春近探検（地域の学識経験者の協力） ・老松場古墳公園の活用 （竹の利用、遊び場づくり、耕作、ピアノコンサート参加） ・米、しめ縄作り、野菜の栽培（地域の方の協力） ・保育園交流（読み聞かせ、野菜の栽培） ・青少年育成標語作り、のろしの会（育成会の協力） ・二分の一人式（公民館の協力） ・クラブ活動（講師に地域の方） ・PTA 林の木材を使った木育授業（財産区、森林組合の協力） <p>○ 縦割りの活動（児童集会、児童会祭り、なかよし清掃）</p>
<p>◆学校経営の重点</p> <p>【みんなの力で、こちよ学校をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをしよう！ ・ろうかを歩こう！ ・すみずみまで掃除をしよう！ ・みんなの話をよく聞こう！ ・自分の思いを伝えよう！ 	 <p>老松場のさつまいもづくり</p>  <p>一本松公園のろしりレー</p>
<p>◆教職員研修の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S S Wの活用研修 ・非違行為防止研修 ・Q-U検査の有効活用研修 ・人権教育研修 ・I C T活用研修（Notebook LM） 	
 <p>西箕輪小学校 所在地 長野県伊那市西箕輪 3900-138 ☎番号 0265-72-2639 http://www.ina-ngn.ed.jp/~wmino-ed 児童生徒数 324名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ</p> <p style="text-align: center;">子どもの対話を大切にした授業づくり ～ “きく”から始まる ～</p>
<p>◆学校教育目標</p> <p>よく考えずんでやりぬく子、体を鍛えたくましい子 美しさ温かさのわかる心豊かな子</p>	<p>◆特色ある活動</p> <p>内外に開かれた学校づくり</p>
<p>◆学校経営の重点</p> <p>あたたかい学校・学級づくりと、学び合いのある授業を通して、思考力・判断力・表現力を高め、自立した児童を育てたい。</p> <p>○ 授業づくり...きく・問う・学び合い</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 主体的な学習態度の育成 2 知識・技能の習得 3 思考力・判断力・表現力の育成 4 特別支援教育の充実 <p>○ 健康づくり...遊び・運動・高め合い</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自己健康管理能力の育成 2 体力づくりの日常化と運動の習慣化 3 健康な心身を育む食育 4 生命を守る保護・安全指導 <p>○ 心づくり...あたたかい学校・学級</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自己指導能力を培う生徒指導 2 よりよい人間関係の構築 3 心を磨く人権教育・道徳教育 4 インクルーシブ教育の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもが活躍 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童会祭り「ワクチャレ祭」 ○ マラソン大会の実施 ○ 児童会活動の充実 ○ 課外クラブ（合唱団、陸上クラブ） 2 学校をひらく <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習支援タイム（学習支援員の方に支援をいただく学習） ○ 読書ボランティアの方による読み聞かせ・お話の部屋 ○ 地域とともに行うクラブ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による指導（バドミントン、将棋、茶道、百人一首マレットゴルフ、書道、太鼓） ○ 地域と連携した学習 （稲作、野菜栽培、お月見の会、企業見学、伊那節・与地の伊那節、ミシン、習字等） ○ 西箕輪中学校との小中連携 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校文化祭・中学校音楽祭への参加 ○ 西箕輪保育園及び西箕輪南部保育園との交流 ○ 伊那養護学校との交流（全体、学年・学級単位）
<p>◆教職員研修の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的な学びの実現のための校内研究、一人一公開 ○ 職員の資質・能力向上のための研修 （非違行為防止研修、ICT 教育の充実のための研修等） ○ 小中連携を強化するための小中職員合同研修 （児童・生徒理解のための授業公開、分科会形式情報交換会等） 	

 <p>西春近北小学校 所在地 伊那市西春近 191 番地 Tel 番号 72-3221 E-mail : nisikita@ina-ngn.ed.jp 児童生徒数 149 名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ</p> <p>自らの考えや思いを伝え合い、深める学び ～自分で考える みんなで考える～</p>
<p>◆学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 明るい子ども ○ あたためい子ども ○ かしこい子ども ○ たくましい子ども 	<p>◆特色ある活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ P T A 権現山親子登山 (7 月) ○ 和太鼓学習 (4 学年) ○ 全校縦割り班での活動 ○ 全校ウォークラリー (地域の名所を縦割り班で回る) ○ 広大な学校農園 (種まき・収穫・加工・食農体験等) ○ 体づくり (全校体育・コオ・ディネーショントレーニング) ○ 同窓会活動 (そばの種まき・そば打ち・二分の一成入式) ○ 読み聞かせボランティア「はらぺこ本 本」の読みきかせ ○ 「地域のひと・もの・ことに学ぶ」活動 地域人材によるクラブへの支援、放課後学習への支援 (国算英)、生活科・総合的な学習の時間への支援
<p>◆学校経営の重点</p> <p>「やってみよう!～ためそう・ふりかえろう・つたえよう～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 子どもの学びの主体性を高める ◇ 地域の様々な人との連携 ◇ 考え方の柔軟性と、仲間や社会と協働できる協調性 ◇ 包摂的な精神を教師自身が持ち、学校環境の見直しを図る 	  <p>トウモロコシ収穫体験 全校ウォークラリー</p>
<p>◆教職員研修の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 深い教材研修と授業改善 ○ 個人課題に寄せた一人一公開授業 ○ 地域に寄せた研修 (地域・学区巡り、地域の方の講演会) ○ 児童理解を深め、学力向上のための職員研修の充実 	
 <p>西春近南小学校 所在地 長野県伊那市西春近 7370 Tel 番号 (0265) 72-3234 E-mail : minami-s@ina-ngn.ed.jp 児童生徒数 130 名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ</p> <p>子どもの主体性を支える教師自らの在り方</p>
<p>◆学校教育目標</p> <p style="text-align: center;">校訓 『恕』</p> <p>『恕』の心をもって 自己の生き方を拓く子どもの育成</p>	<p>◆特色ある活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の活動「グリーンタイム」栽培活動、食育促進 ○ 「 」 「チャレンジタイム」個々の探究的な学び推進 ○ 南風っ子班 (縦割り) での清掃・読書・集会活動 ○ 南風っ子祭り (児童会主催児童主体のお祭り) 11 月 ○ 保護者、地域の方々との交流作業・交流会や間伐体験 ○ 地域の方を講師に招いてのクラブ活動 ○ 地域の方によるボランティア活動 (読み聞かせ「いろはのき」、MIM の学習支援、アンネのバラ手入れ、清掃支援など) ○ 地域の方々との交流 (伊那西高校、西春近北小、学区の方) ○ 保育園との交流 (学年行事での共同作業、総合的な学習の時間を使つての交流など) ○ ユカイナへの取組 (1 年生が作成、音楽集会音楽会での演奏 森 J o y での演奏)
<p>◆学校経営の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的、対話的で深い学びにつながる「授業改善」学習を支える「体づくり」 ○ 自他のよさや多様性を認め、安心して自己表現できる、学校・学級づくり ○ 地域に親しみ、地域に関心を寄せる「地域学習」 	
<p>◆教職員研修の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習指導の充実 (授業づくりに向けた研究・研修) 2 学力向上・学級づくり (研究と研修) 3 保小接続・連携 (実践の蓄積) 4 I C T 教育の充実 (実践と研修) 5 非違行為防止研修 (研修) 6 特別支援教育 (研修) 	  <p>「伊那西高校との音楽交流」 「北小と合同の救急救命講習会」</p>

 <p>高 遠 小 学 校 所在地 伊那市高遠町西高遠465 TEL番号 0265-94-2070 http://www.ina-ngned.jp/~takatoo/ 児童生徒数 162名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆ 学校研究テーマ</p> <p>「笑顔と意欲あられる授業の創造」</p>
<p>◆ 学校教育目標</p> <p>「清らかで 美しく やさしく たくましい 高遠の子ら」</p>	<p>◆ 特色ある活動</p> <p>[読み書きの力を伸ばす] <知> ○読み書きの力を伸ばす学習指導・支援 (MIM) ○関わりや体験を大切に授業づくり、ペア・少人数学習 ○生きる力をはぐくむ総合的な学習の充実 (高遠を材とした学習、ICTを活用した学習) ○自学塾 ○毎日の10分間読書「進徳タイム」</p> <p>[相手の気持ちを考えて動く] <徳> ○児童会テーマ「輝く～あいさつしたらみんな友だち」 ○見つけて動く本気の「清掃」 ○小・小連携、保小中連携 ○異年齢集団活動 一なかよし班・なかよし集会等</p> <p>[自分の健康は自分で守る] <体> ○マラソン大会 ○全校体育 ○陸上クラブ OSOS の出し方教育 ○「お弁当の日」</p> <p>[家庭・地域と共に育つ学校]</p> <p>○地域に根ざした生活科・総合的な学習の時間 (孤軍高遠城舞踊) ○さくらの時間 ○地域講師によるクラブ活動 ○特設クラブ (高遠雑子クラブ) ○地域の大人に学ぶ 地区行事への参加 伊澤修二記念音楽祭</p> 
<p>◆ 学校経営の重点</p> <p>「知」 学びづくり 自ら学びに向かう力の育成 ①基礎基本・読解力の定着 ②授業づくりは学級づくり ③生きる力を育む総合的な学習</p> <p>「徳」 心づくり 相手の気持ちを考えて動く ①「安心・安全」な心の教育 ②人間関係力の育成 ③感謝の心・豊かな心の醸成</p> <p>「体」 体づくり 自分の健康は自分で守る ①自分の心と体を見つめる ②体力向上 ③食育</p>	<p>◆ 学校研究テーマ</p> <p>「自ら考え、友と学び合う子ども」</p>
<p>◆ 教職員研修の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 心の教育を中心とした授業研究 ② 基礎基本の力をつけるための授業改善研究 ③ 地域を学ぶ研修・地域学習を進めるための教材研究 ④ 人権教育・児童理解・学級づくりのための研修 ⑤ ICT活用研修 	<p>◆ 学校教育目標</p> <p>なかよし学校 がんばり学校</p> <p>◆ 学校経営の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相手を思って関わります 2. 「自分」と「友と」で考えます 3. 励まし合って鍛えます <p>◆ 教職員研修の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善へ向けての授業研究 ・ICTの有効利用についての研修 ・人権教育・児童理解にかかわる研修 ・特別支援教育にかかわる研修 ・地域のフィールドワーク ・教職員としてのあり方にかかわる研修 ・非違行為防止研修 <p>◆ 特色ある活動</p> <p>○縦割り班の活動 ・集団登下校 ・自然で学ぶ日・花壇づくり ・みやのはら祭り (児童会)</p> <p>○交流活動 ・異学年、姉妹学年交流 ・高遠第2第3保育園園児との交流 ・他校交流 長谷小・高遠小・三宅小</p> <p>○地域見学: (地域の方に講師になっていただいて) ○地域を学ぶ日 (地域の方主体で企画・実施) ○伊澤修二記念音楽祭への参加</p> <p>☆小規模特設校として、表現力を高める様々な学びの場面を大切にしています。</p> 
 <p>高 遠 北 小 学 校 所在地 伊那市高遠町長藤4410番地 TEL番号 0265-96-2220 http://www.ina-ngn.ed.jp/~takakita/ 児童生徒数 63名 (R7.5.1 現在)</p>	

 <p>長谷小学校 所在地 伊那市長谷溝口915番地 〒番号 0265-98-2220 http://www.ina-ngn.ed.jp/~hase-syo/ 児童生徒数 63名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ</p> <p>自ら考え、取り組み、かかわる子ども</p>
<p>◆学校教育目標</p> <p>輝け長谷っ子 とともに学び とともに育つ</p> <p>目指す子ども像</p> <p>自分で考え 自分から取り組む 長谷の子ども</p>	<p>◆特色ある活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇姿勢の時間 (全校毎朝実施) ◇よもぎ採り (高齢者クラブの方との交流) ◇孝行猿集会 <ul style="list-style-type: none"> ・長谷に伝わる民話「孝行猿」の劇を3年生が毎年発表。 ・中尾座で公演する年もある。 ・R7は、「伊那谷あんぜんフェスタ」でも発表。 ◇長谷っ子クラブ (地域の方から学ぶクラブ) ◇長衛祭参加 (竹澤長衛を偲ぶとともに登山シーズンの安全祈願。林道崩落以前は南アルプス市立芦安小学校との交流) ◇宅幼老所みなみとの交流 ◇スマイルタイム (縦割りなかよしグループ) ◇安心安全見守り隊との対面式・感謝の会 ◇小中連携活動 <ul style="list-style-type: none"> ・小中兼務職員による授業等 (音楽、外国語、家庭科、図書館司書、相談員、ALT) ・合同音楽会、合同読み聞かせ会、合同防災引き渡し訓練、 ・合同職員研修 (常福寺、カリキュラムづくり、染め物体験、授業づくり等) ・中学校くろゆり祭、フラワーコンサート参加
<p>◆学校経営の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「輝く 長谷っ子」 自己肯定感・自己有用感を育む子 ◇「ともに学ぶ」 自ら考え、取り組み、かかわる子ども<全校研究テーマ> ◇「ともに育つ」 ふるさと長谷に誇りと愛着を持つ子ども <p>◆教職員研修の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇地域を知る研修 ◇授業改善に向けての研修・ICT研修 ◇自己理解(QU)、自己肯定感を高める言葉がけ、学級づくりについての研修 	

特色ある学校づくり ～ 各校の取り組み 中学校 ～

 <p>伊那中学校 所在地 伊那市荒井4460 Tel番号 0265-72-6168 http://www.ina-ngn.ed.jp/inatyu/ 児童生徒数 347名 (R7.5.1現在)</p>	<p>◆ 学校研究テーマ 子どもたちはどう学ぶのか ～探究・協働・UD化～</p>
<p>◆ 学校教育目標 「志を持って 勉強せよ 親切に」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好き・適性を見つける ・確かな学力をつける ・「探究」を探究する ・個性・多様性を認め合う ・ふるさとの人・もの・ことと出会い、貢献する ・自分で考え、判断し、自分から行動する 	<p>◆ 特色ある活動 ○地域のことを、地域の人と、地域のやり方で学ぶ 「ふるさと伊那谷学」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を知る上伊那めぐり ・連続5日間の職業体験学習 事業所や保護者などをお招きし、感謝とともに上伊那で働くことや将来の夢について語り合う機会 ・「道草の日」の実践から生まれるふるさとへの思い ・高校・大学生、地域の講師から学ぶ「マインクエスト」の実施
<p>◆ 学校経営の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業が学校づくりの根幹」を合い言葉に、生徒が主体的に学ぶ授業を通して、思考力・判断力・表現力を高め、自立した生徒をめざす。 ・生徒自身による学びを自己設計する力の育成「マネジメントタイム」の実施 	 <p>【「マインクエスト」と「マイチャレンジ」の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○探究学習「マイチャレンジ」を通して、生徒の興味関心を基に、自己課題の解決を図る学習の実践 ○学校や大人が決めた「枠」にとらわれない、生徒による学校生活づくり ○保小中の連携による教育実践の発表「伊那中公開」
<p>◆ 教職員研修の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 職員自らが提案する、創造的「提案型研修」 ② 「自ら学びを選択し、考えを更新する姿」を目指す授業づくり 	<p>◆ 学校研究テーマ 「自分を知り、学び方を考える」 ～認知や発達の特性を活かした授業～</p>
 <p>東部中学校 所在地 伊那市日影5749番地 Tel番号 0265-72-6128 http://www.ina-ngn.ed.jp/~suzutake/ 児童生徒数 665名 (R7.5.1現在)</p>	<p>◆ 学校研究テーマ 「自分を知り、学び方を考える」 ～認知や発達の特性を活かした授業～</p> <p>◆ 特色ある活動</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 伝統を受け継ぎ、成就感を味わわせる学校行事 <ul style="list-style-type: none"> ・すず竹祭(文化祭) ・合唱発表会 ・体育祭 (2) 学力向上の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関と連携した「自分学」の実施 ・目的あるグループ活動の推進。対話的に学ぶ場面を設定 ・「振り返りカード」で一時間の学びを確認 ・電子黒板、iPadなどの視聴覚機器やデジタル教科書、AIドリル、視覚教材を活用 ・自学ノートで主体的に学ぶ力を育成 ・放課後学習支援(学力向上支援員による補充学習) (3) 生徒会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域感謝交流会：祖父母に感謝する会の意義を継承しつつ、地域の方への感謝に広げて開催 ・さくらプロジェクトの推進：仙台市立高砂中学校との交流活動 互いの良さを学び合い、両校の絆を深める。 ・学習委員会：自らが選択し、行動する朝タイムの実施と「学びの足跡」の掲示 (4) 食育 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色ある食文化調べや講演会の実施、地元農家の協力による食育体験学習 ・お弁当チャレンジウィークの実施
<p>◆ 学校教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 真剣にねばり強く学習する生徒 (2) 広く豊かな心を持つ生徒 (3) 勤労を尊び、仕事に打ち込む生徒 	<p>◆ 学校経営の重点 『東部中 Pride』 「東部中のもつ活気と躍動感」をつなげる心意気。 「東部らしさ・東部中として」と誇れる思い。</p> <p>自主・自立 「自分で考え」「自分が決め」「自ら動く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を知り、自分が決める機会を ・授業で育てたい主体性・自主・自立の力と調整力 <p>多様な学び～自己理解から～ 「違うからこそ学び合う」 「違いを認め合う広さ深さ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい生き方へ ・「独りになる」「誰も一人にしない」 ・授業で一人一人の学びを保証
<p>◆ 教職員研修の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業力を高めるための教員の研究・研修 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の目標に応じた資質・能力を育成するための授業改善 ・教科等横断的、普遍的な資質・能力を育成するための職員研修 (2) 修養研修 <ul style="list-style-type: none"> ・教師としての資質向上研修 ・事例に学ぶ非違行為防止研修 	

 <p>西 箕 輪 中 学 校 所在地 伊那市西箕輪 6569-1 TEL番号 0265-72-6421 http://www.ina-ngn.ed.jp/~momiji/ 児童生徒数 189名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆ 学校研究テーマ 主体的に追究できる生徒の育成 ～自ら問題を見出し、課題を設定できる生徒を目指して～ 重点① 「学び合い」の質を高める授業実践 重点② 個別最適な家庭学習 (サマーレポート、ウィンターレポートの取り組み) 重点③ インクルーシブな教育の実践</p>
<p>◆ 学校教育目標 『剛健質実やさしさ・たくましさ・夢』 ○こつこつ勉強しよう ○厳しく鍛えよう ○よい友だちをつくらう</p>	<p>◆ 特色ある活動 ①「西箕輪中学校人権宣言」を基盤とした生徒会活動 ・縦割り討論会 ・縦割り清掃 等 ②地域との交流活動 ・福祉施設、保育園、西箕輪小学校、伊那養護学校 等 ・「スマイル花壇」の整備 ③地域学習(クラス総合) ・「地域のためにできること」 等 ④全校生徒が参加する PTA 懇親運動(綱引き) ⑤親子の手紙 ⑥暮らしの中の食「手作り弁当の日」 ⑦地域行事への参加「西箕輪高原マラソン大会」 等</p>
<p>◆ 学校経営の重点 『理解・支援・応援』 ～ひとりひとりが大切にされる学校を目指して～ ○「指導の前に理解」を基盤とした生徒理解 ○主体的に追究できる生徒の育成 ○家庭との綿密な連携、地域での学習展開、小学校との連携</p>	  <p>【縦割り討論会】 【スマイル花壇整備】</p>
<p>◆ 教職員研修の重点 教職員研修システムの充実 ①重点ごとに分かれた研究グループによる研修会の実施 ②自己省察を大事にした授業づくり ③ICT研修の実施 ④家庭学習のあり方研修 ⑤生徒理解研修 ⑥小中合同研修会の実施</p>	<p>◆ 学校研究テーマ 友との学び合いを通して、「わかる」「できる」「使える」を実感できる授業の創造</p>
 <p>春 富 中 学 校 所在地 長野県伊那市東春近 2408 番地 TEL番号 0265-72-5245 http://www.ina-ngn.ed.jp/~yabane 児童生徒数 361名 (R7.5.1 現在)</p>	<p>◆ 学校教育目標 理想を目指し、たくましく実践する人になろう</p> <p>◆ 学校経営の重点 三つの矢羽根 ○矢羽根1「授業を学校づくりの根幹に考える」 対話的活動を中心にして、学び合いの中から自他と向き合い、 わかった、できた喜びの持てる授業 ○矢羽根2「インクルーシブな教育環境づくり」 すべての生徒が安心して生活できる環境を目指して ○矢羽根3「カリキュラムをデザインする」 地域や社会との連携や協働の実現、ICTのDX化に向けて</p> <p>◆ 教職員研修の重点 ①「学び合い」「対話」を軸にした授業改善 ②春富地区小中合同研修会 「コーディネーショントレーニング」 ③教育公務員としての資質の向上(非違行為防止 他) ④職員の特徴を生かした校内専門研修</p>   <p>◆ 特色ある活動 ○生徒会活動における信用販売(無人販売)の実施 ○あいさつと歌声の響く学舎づくり ○生徒会が中心となった学校生活の向上 令和7年度生徒会スローガン 「彩虹の矢(さいこうのや)～自分の色でかける虹～」 ○自転車通学と交通安全指導 生徒会による自転車通学安全指導、自転車安全点検等 ○「春富の心」を大切にした特色ある実践活動 ・地区生徒会活動における地区奉仕活動 ・命の尊さを考える「命の日」、「命の日講演会」 ○地域ボランティアによる学習支援および読み聞かせ</p>

<p style="text-align: center;">高 遠 中 学 校</p> <p>所在地 伊那市高遠町東高遠232番地 電話番号 0265-94-2142 FAX 0265-94-4765 http://www.ina-ngn.ed.jp/~takatyu/ 児童生徒数 125名 (R7.5.1現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ 全ての生徒が生き生きと学び、 力を伸ばす高遠中を目指して (2年次) ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～</p>
<p>◆学校教育目標 『学則得』 実生活 人間形成に生きる学び 『仰之愈高望之愈遠』 学び続け、求め続ける姿勢</p>	<p>◆特色ある活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観桜期おもてなしボランティア活動の継承と創造 ○伊澤修二記念音楽祭への参加参画 ○地域講師から学ぶ親子ふれあい講座、職場体験学習 (2年)、放課後学習等、キャリア教育の充実 ○学校林を守り生かす森林学習 (1年) ○実体験を通じた食と農の学びの充実 ○宿泊体験学習 (1年) 仙丈ヶ岳登山 (2年) 京都奈良への修学旅行 (3年) ○中中連携：長谷中学校と授業や行事を合同で行う。 インドネシア校と長谷中と交流 ○高遠高生による学習支援、交流学习、協働活動
<p>◆学校経営の重点 “AIを超えていこう！” ver.3 『自立・自律・JIRITSUした学び手に！』 「求めて学び、自ら立つ生徒」 (主体的な学び手、自立・自律した学び手へ) 「互いを認め合い、学び合う生徒」 (個別最適な学びと協働的な学びを通して高め深め合う)</p>	 <p>(観桜期ボランティア活動)</p>  <p>(インドネシア・長谷中と交流)</p>
<p>◆教職員研修の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ふらっと(flat)公開・授業」の機会を充実させ、気軽に授業公開、授業参観をしあう。 ○互いの授業参観を通して、ICT機器や学びのツール活用のための自己研修・自己研鑽を進める。 ○教育公務員としての資質向上の推進 (非違行為防止研修他) 	
<p style="text-align: center;">長 谷 中 学 校</p> <p>所在地 伊那市長谷溝口1080 電話番号 0265-98-2050 http://www.ina-ngn.ed.jp/~hasechu/ 児童生徒数 31名 (R7.5.1現在)</p>	<p>◆学校研究テーマ 『問いの解決に向けて主体的に追究する生徒の姿をめざして』 ～生徒一人一人が個人探究、全校探究を通して、 学ぶ喜び・幸せを実感する～</p>
<p>◆学校教育目標 学是「不撓不屈」 心豊かに たくましく 創造力溢れる生徒</p>	<p>◆ 特色ある活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境教育 全校での花壇づくり「パンジー長谷全戸配付」 ○ 交流教育 伊那養護学校との交流学习 (昭和62年より継続) 高遠中、公民館未満児教室との交流 ○ 保小中連携「小中合同音楽会」「保小中 合同引き渡し訓練」等 ○ 福祉教育 老人福祉施設「サンハート美和」ふれあい訪問等 ○ 地域芸能文化の伝承 「南アルプス太鼓」「ござ節」の地域各所での演奏 ○ 地域学習 中学生ができる地域おこし 「八房とうがらし」等のラー油原材料の栽培 「長谷の縁側」「長谷の出張縁側」地域の方と交流 「くろゆり祭」の地域合同開催 「中尾の棚田祭」への協力 etc ○ 食農教育 伊那市「暮らしの中の食」の推進 全校での畑活動 (野菜を栽培し給食食材に活用) ランチルームでの全校給食
<p>◆学校経営の重点 生徒自身とふるさと長谷のウェルビーイングを目指し、 エージェンシーを育む学校・地域とともにある学校 (エージェンシー：「変化を起こすために、自分で目標を設定し、 振り返り、責任をもって行動する能力」)</p>	
<p>◆教職員研修の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小中連携による研修 (合同研修会・相互授業参観) 地域の方を講師に招いた研修会の実施 ② 中学校同士の連携 対面やリモートでの合同授業、同教科会 ③ 授業改善、ICTの効果的な活用 全職員参加の総合学習 (全校探究)、授業研究の充実 ④ ウェルビーイング研修 (非違行為防止資質向上研修) 	 <p>←とうがらしの定植</p> <p>長谷の縁日→</p> 